

令和6年度（2024年度）第3回北区まちづくり懇話会 会議録

【日 時】 令和7年（2025年）3月6日（木）午後2時～午後3時

【場 所】 北区役所2階第2～4会議室

【出席委員】 丸山 泰、荒木 善光、浅井 賢一、白石 幸春、徳永 親、
戸野口 庄子、東 信義、平山 愛、堀 史、宮村 聡、
山崎 雄三 以上11名（敬称略）

【傍 聴 者】 なし

【会議次第】

- 1 開会
- 2 会長挨拶
- 3 説明事項および意見交換
 - ・地域カルテについて
 - ・第6期北区まちづくり懇話会の振り返り
- 4 各委員よりご挨拶
- 5 区長挨拶
- 6 閉会

1 開会

2 会長挨拶

進行してまいります。

今期最後の懇話会となりますので、どうぞよろしくお願いします。

地域カルテのおよび第6期北区まちづくり懇話会の振り返りについて事務局から説明をお願いします。

3 説明および審議事項

地域カルテ及び第6期北区まちづくり懇話会の振り返りについて

(事務局)

資料1及び資料2について説明

(丸山会長)

ただいま事務局からの説明で、内容に関する質問、意見などがあればどうぞ。

(徳永委員)

地域カルテの中に、町内自治会の情報等は掲載しないのか。

(事務局)

これまでのご意見を踏まえてこの地域カルテの項目を選定したため、今後検討したい。

(丸山会長)

地域カルテについては、色んなベータベースがあるので、使い勝手が良いものだと思う。

(事務局)

今後、適宜提案があり、更新していくと思う。

(丸山会長)

いつ公表になるか

(事務局)

早ければ今月中に、まずはホームページに公開予定。今後、自治会長研修会等で使用していきたい。

(荒木副会長)

地域カルテ自体膨大な量になるので、概要を掲載した1枚もののチラシを作成してはどうか。地域カルテのホームページにアクセスできる二次元コードがあれば良いと思う。そのチラシを地域カルテと併せて配布したら効果的だと思う。

(事務局)

作成したい。

(宮村委員)

この地域カルテの内容が誰に対するメッセージで、誰がどういう風に使っていくか。来年度行うアンケートの問いの中に、地域カルテに対する意見も取り入れると、新たなものが見えて効果的なものになると思う。

(堀委員)

ホームページへ掲載の際は、全体をダウンロードすることになるのか。

(事務局)

全体版と切り分け版で掲載する。

4 各委員よりご挨拶

(浅井委員)

これまでスポーツ推進員として参加してきた。コロナ後スポーツが下火となっている。皆さんの地域でも、今後スポーツを楽しんでほしいと思う。

(白石委員)

3期6年間参加した。先達の言葉に「教えるとは未来を語ることだ」という言葉があるが、地域カルテや感想を聞きながらまさにそうだと感じた。地域の未来につながるよう、これからもよろしく願いしたい。

(徳永委員)

3年前に退職。地域でホームページを作成したり、緊急連絡用にLINEで繋いだりしてきた。地域のことを知ることができ勉強になった。

商工会や自治会のことも全く知らずに懇話会委員になり、植木町では文化活動が盛んであることなど驚いた。

企業は人手不足、自治会も担い手不足。それを実感する2年間だった。今後

もできる範囲でやっていきたいと思っている。

（戸野口委員）

長い間出席させていただきありがたい。地域カルテを地域に持ち帰ると、区役所でこんな仕事もしていることに驚かれる。職員の皆さんに感心されている。懇話会委員は今回で最後だが、この懇話会はすばらしいところだと実感した。

（東委員）

2年間懇話会に公募委員として出席した。ありがとうございました。区長をはじめ、区役所ではこんなに一生懸命まちづくりに取り組んでいることを知った。また、地域カルテには感心した。今後、ビジョン完成のため、刻々と変わっていくデータを更新していったほしい。

私は北区武蔵ヶ丘に住んでいる。20年位住んでいるが住みよい街。年寄りにも若い人にも住みよい街か…はまだわからないが、今、若い人は就職で北区外、県外に出ていっている。若い人が地域に定着するような取り組みも入れてもらいたい。

（山崎委員）

子育て分野で3期6年間参加してきた。コロナ禍もオンラインでの参加も経験した。子育て分野だと少子化の勢いがすさまじい。保育園では定員を減らそうとしており、0歳児が集まらないという話がどんどん出てきている。

現場の生の声を懇話会で届ける機会をもらえてありがたい。参加できたことを誇りに思う。また、一市民として皆さんに届けられる声は届けていきたい。

北区ってどんなところかと聞かれて答えられなかった自分がいるが、カルテを読み込んでいけば自信を持って答えられると思う。

（宮村委員）

熊本青年会議所では、事業を行ったあとの報告を大事にしている。作成した地域カルテをより効果的に使っていくためにどういう情報が必要か、また良くなかったかを振り返る機会を設けてもらえると良いと思う。北区在住の方のために効果的な資料になると思うので、今後も力になっていきたいと思っている。

来期も熊本青年会議所メンバーが委員となる予定。引き続きよろしくお願いしたい。

（堀委員）

地域活動をする中で、これまで見えなかったことが懇話会に参加することで

客観的に見ることができた。今後活動する中で有益なことだと感じている。委員の方から色んな立場での意見に振れ幅があり勉強になった。2年間ありがたかった。

（平山委員）

地域カルテに目を通してすごい資料にビックリしている。観光業界では、目まぐるしく変化する環境に今まで通りにはいかないことがたくさんある。

企業という分野で参加しているため、植木温泉や商工会でも共有していきたいと思う。

（荒木副会長）

3期6年間参加してきた。会長をはじめとする委員の皆様、執行部の皆様のおかげと感謝している。この地域カルテの成果として、見えないデータを見える化していることが一番のポイントになっている。人によって見方が変わると思うが、色んな分野の方が地域にはいるため、ひとつのツールになると思う。

このデータはみんなで検証したビジョンに基づいたものとなっており、方向性が一緒になっているのもポイントのひとつとなっている。懇話会の成果として区民の皆様に還元できることを嬉しく思う。

ビジョン達成のための目標をどう明確化して評価していくか、また実行していくかを次期懇話会メンバーと区民のみなさんとでより良いものにしていけばと思う。

熊本保健科学大学は西里校区にあるため、自治会等で健康まちづくりに参加しながら、身近な地域で今後も活動していきたい。

（丸山会長）

第8次総合計画のスタートに合わせて、地域カルテが出来たのは良かった。

大学では、経営学とマーケティングが専門で、世の中を見るときには3つの目として、虫の目、鳥の目、魚の目があると言われている。まず虫の目は「専門性」。次に鳥の目は空から「広い視野」で見る。それから魚の目になり「時間の流れや世の中の流れ」を見ることができる。

そういう視点から、地域カルテに関しては、まずは北区全体を鳥の目になり広い視野で見て、校区毎の違いや地域の特性を見てみる。その後、5年10年経過してデータが蓄積していくと、魚の目になり様々な情報の活かし方も加わり、更に現場の皆さんの虫の目によって俯瞰的に捉えたり、この懇話会の場で意見を出し合ったりすると、より良いまちづくりになっていくと思う。良いスタートが切れたと思うので、このスタートをベースにしっかりまちづくりが出

来たら良いと思うし、私も見守っていきたい。

また、懇話会の司会進行をするにあたり、様々な意見がたくさん出た２年間だったと思う。多大なるご協力いただき感謝する。

5 区長挨拶

本日は、大変お忙しい中、第３回北区まちづくり懇話会にご出席を賜り、また、これまでの懇話会での議論などを通じて、北区のまちづくりに多大なるご尽力を賜り心から感謝を申し上げます。

先ほど説明がありましたとおり、今期の懇話会において「北区まちづくり方針」の策定や「地域カルテ」を作成することができ、今後における北区のまちづくりの方向性を定めることができた。

これもひとえに、これまで熱心にご議論いただいた懇話会委員の皆様のお力添えによるものと、改めて深く感謝申し上げます。

今後もこれまで同様の意見交換の場は続けていく。

北区の課題として、会社の人材不足や地域での担い手不足があり、これは全国的な問題でもある。

地域カルテを活用し、企業や学校等を巻き込みながら、将来の担い手づくりに取り組んでいただきたい。今後更にブラッシュアップをしながら課題解決につなげていきたい。

6 閉会